
かゆいところに手が届く カスタマイズ品注文サービスの開発

吉野 大



会社紹介

- ・CM動画



オプション高度化プロジェクト



- ・建材・エクステリア、ベアリング・伝導機器の2カテゴリで「カスタマイズ注文サービス」を開始する。
- ・ユーザー自らがWebサイトでの注文時に仕様を選択・設定できる。
- ・1,000億通り以上のカスタマイズを可能とする。
- ・このサービスにより、商品検索から注文までにかかる業務コストを削減できる。



他にもたくさんのプロジェクトが...

1年ものの
マイページ
改善

時代は進むのに
すすまないスマ
ホサイト改善

いろんなハード
ルがある商品専
門検索サービス

海外事業向け
の開発が後回
し

TOPページ改善
どっかで止まっ
てる！

売上向上
改善

新サービス機能



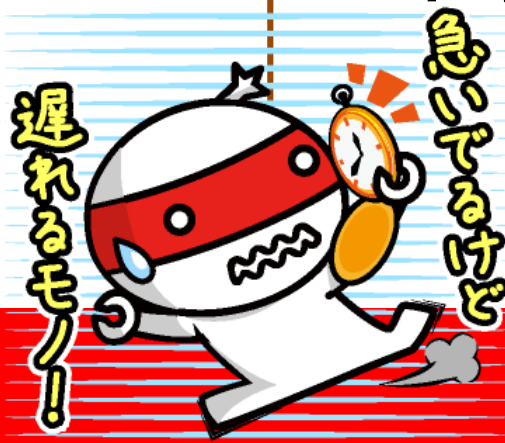
ユーザー問題解決

運用面で止まっ
ている、ユーザー自身で
の注文キャンセル機
能

業務効率

古い開発環境

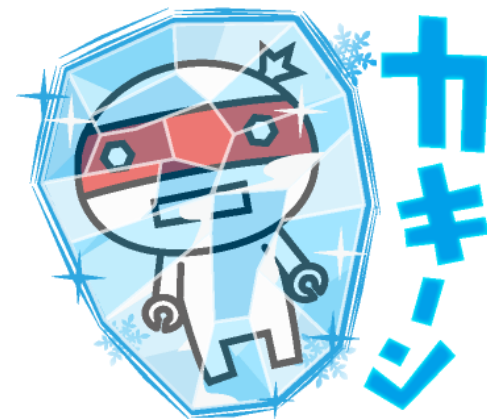
すぐ止まる
マーケティング
のシステム



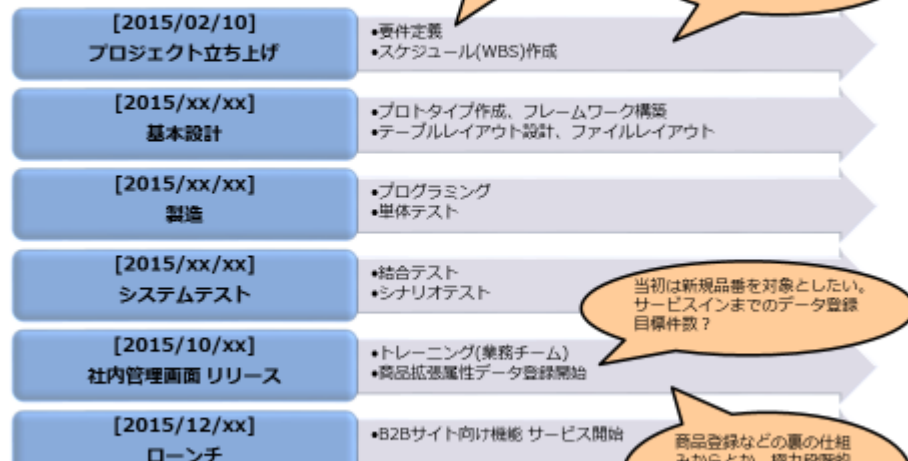
CCPMでやってみよう！

・プロジェクトの構想は、2013年頃からあったが、比較的小規模で早く成果が出るものから着手されていたためなかなか実施されず。
・2015年2月には、プロジェクトが立ち上がったが、少人数でバットマルチタスクで実施していたため動きは加速していなかった。

・大企業連携プロジェクトでの結果を受け、2015年7月からCCPMを使っての再始動。IT部門の中では再優先PJに位置付けられた



スケジュール



目的 Objectives

- 商品数を増やす
- 商品を探しやすくする
- ユーザが必要とする商品を簡単に買えるようにする
- ユーザが指定した商品を間違いなく出荷ができるようにする
- 商品管理がしやすくなる
- 仕入先へのあいまいな発注がなくなり、明確になる
- 商品登録を誰でもできるようにする
- 商品のバリエーションを増やす
- 売上を上げる
- 今まで獲得できていなかったユーザを獲得する
- プロジェクトメンバーがECサイトも基幹業務もどちらに対しても理解を深める
- お客様の時間を短縮する



成果物 Deliverables

- オプション高度化 プログラム一式
- 商品を探しやすいサイト
- 多様な商品を登録できる画面
- 商材に合わせたオプションを設定しやすい購入画面
- 今まで取り扱いできなかった商品を販売できるサイト
- 新しい商品管理の業務フロー / 仕入先との簡潔な業務フロー
- 成果物のプレスリリース
- ご利用ガイド
- 高度化された商品を管理できるデータベースおよびデータ
- 新しい仕組みに対応したレポーティング
- 基幹システムもWEBサイトも開発できるエンジニア
- オプション高度化によって取り扱えるようになった商品
- お客様が同じ商品を再購入する仕組み
- 新サービスに関する告知が掲載されたカタログ
- 内部統制 (ITAC) に必要とされるドキュメント

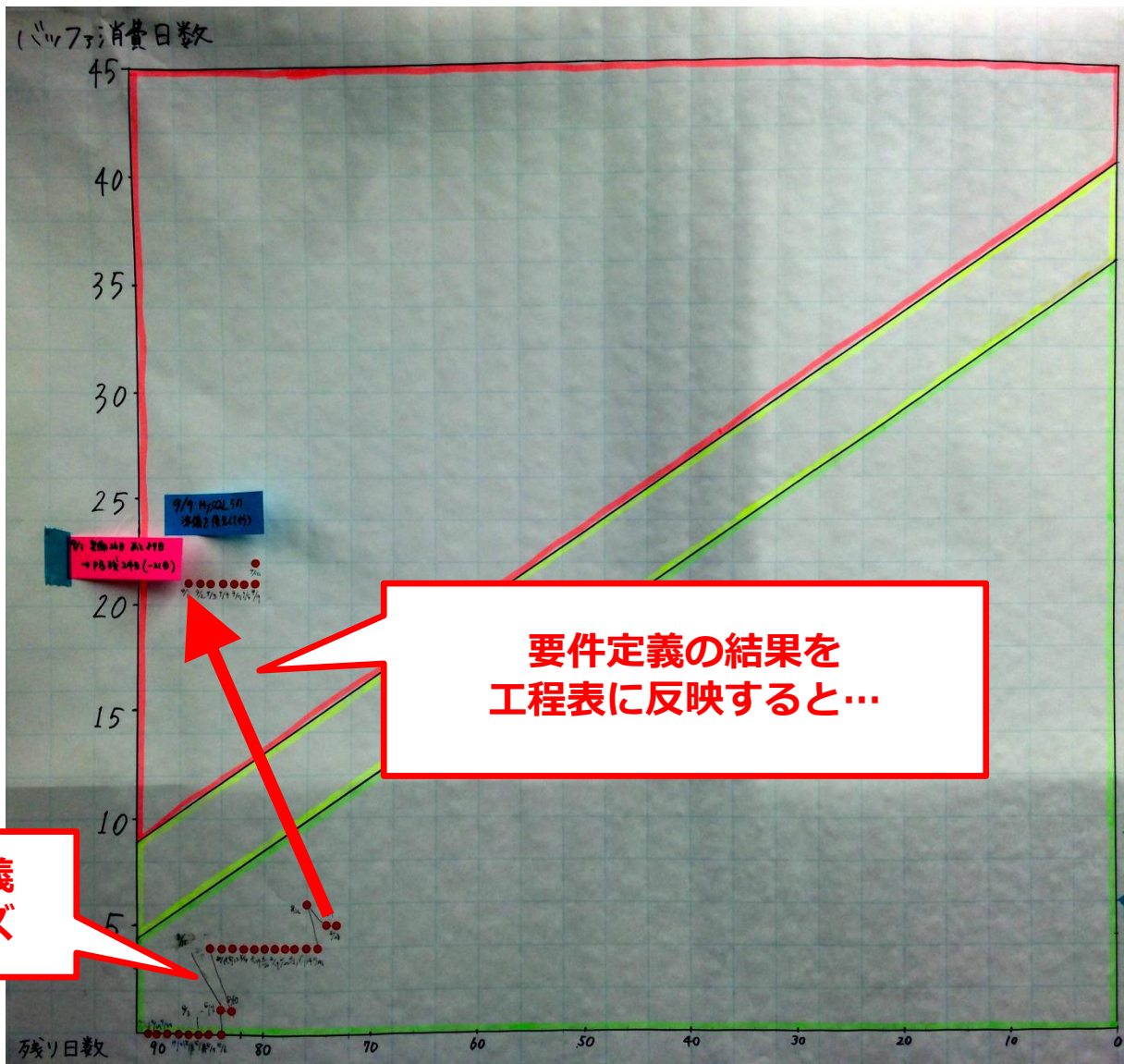


成功基準 Success Criteria

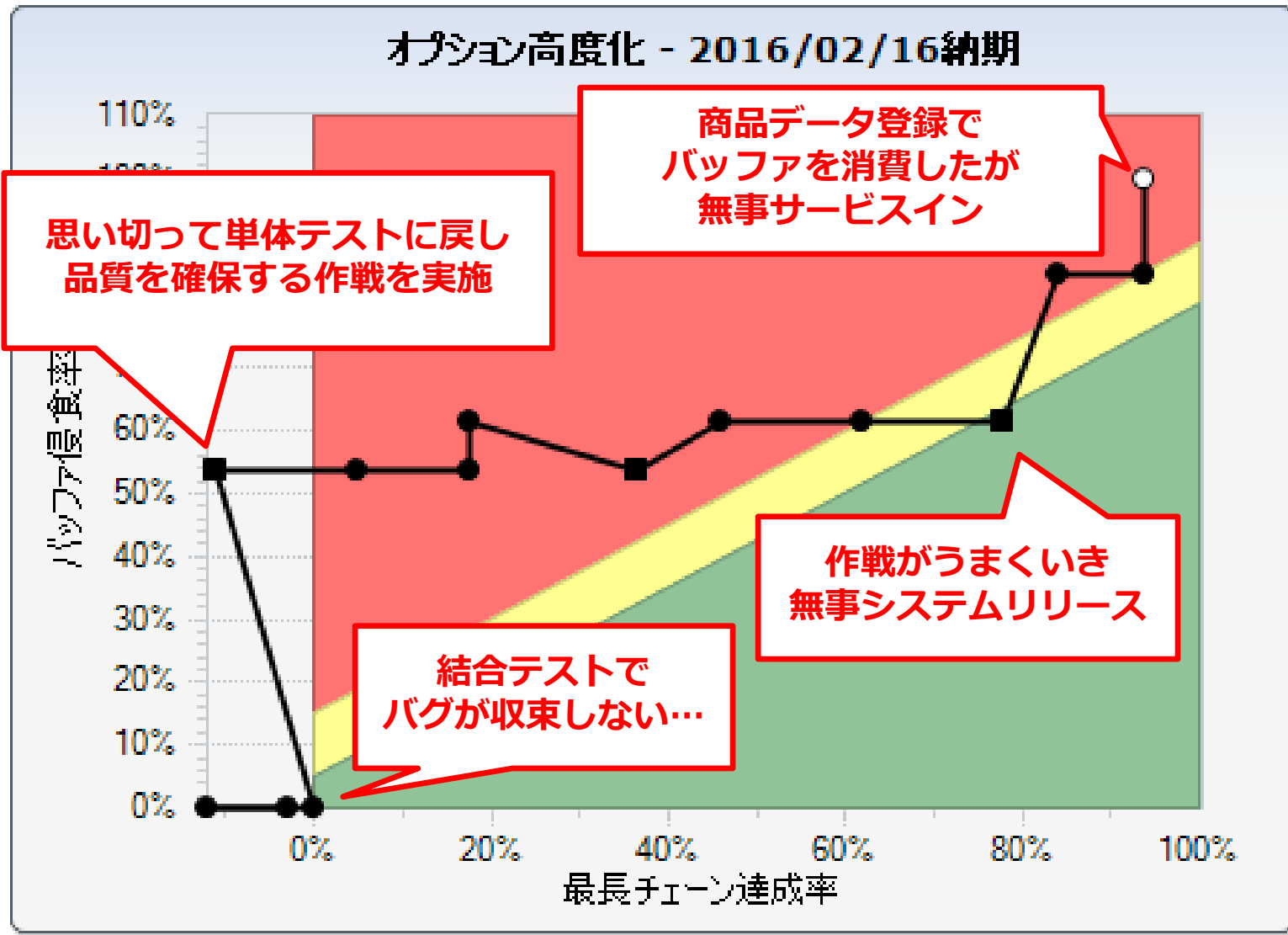
- FA/工事カテゴリの各々で最低1つの（ベアリング・建材）カテゴリで、対象商品の販売を開始できる
- ユーザテストによって特定商品を探すタスクにかかる時間が半分になる
- 対象カテゴリの売上が前年比2倍になる（3か月間）
- 対象商品の誤出荷や返品の問い合わせが他のカテゴリと同等以下
- データベースを直接触らなくても登録できるようになっている
- 仕入先の発注に対する内容の問い合わせが減る
- ユーザがあり得ないオプションの組み合わせによる注文ができないようになっている
- 自分自身の部門以外に対して改善の提案ができるようになる
- 2015年中にシステムのテストが完了している
- 2016年2月20日までにサービスローンチ完了



フィーバーチャート(初期)



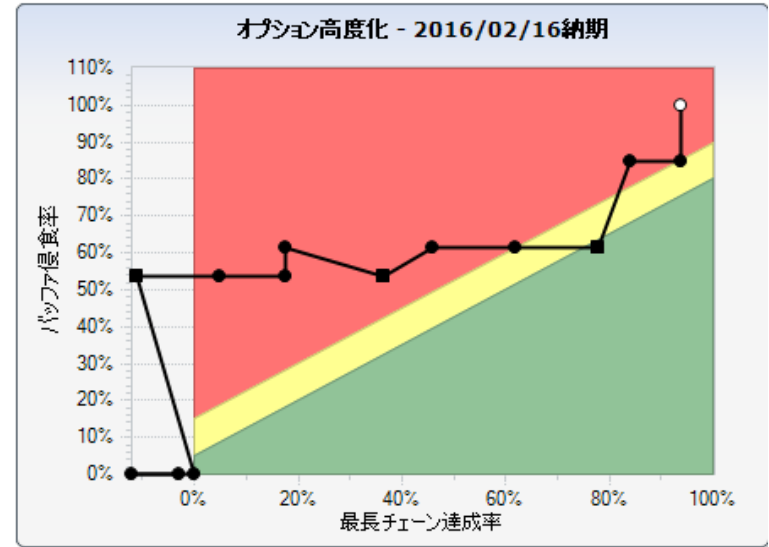
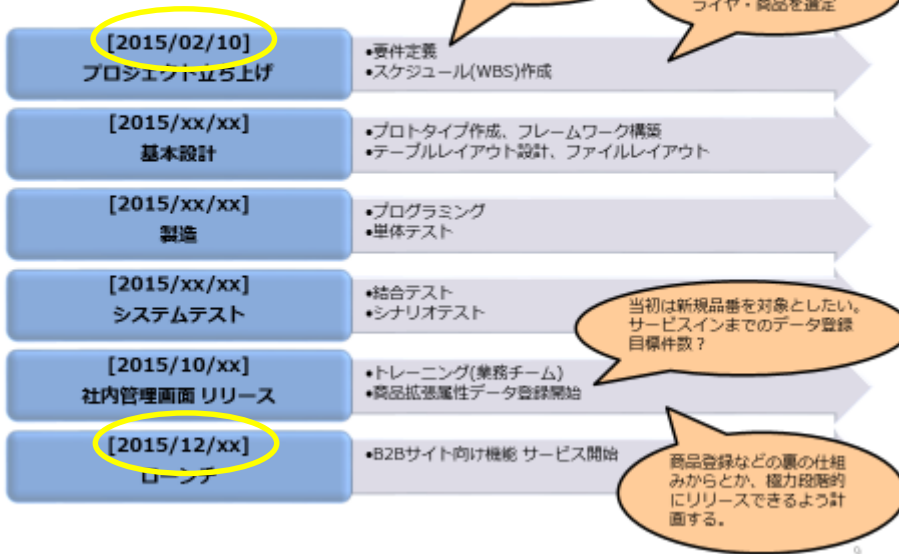
フィーバーチャート(最終)





プロジェクト期間はどうなったか？

スケジュール



当初予定は、2月から12月の約10ヶ月

CCPMを適用して再始動したのが7月、プロジェクト完了が2016年2月14日。
7ヶ月半で完了

教科書どおりの工期約25%削減を達成



一体どのような考え方が違いをもたらしたのか？

	これまで	CCPMの取り組み
納期に間に合わせるための施策	<ul style="list-style-type: none">・スコープを調整することが多く、人員の調整はあまりしてこなかった。・マネージャーの経験則で人員の配分を意思決定していた。	<ul style="list-style-type: none">・プロジェクト間で人員の調整ができた。・主な解決方法は、緑のタスクや緑のプロジェクトから赤のタスクや赤のプロジェクトに人員を移動させることであり、分かりやすかった。
タスクの優先順位	<ul style="list-style-type: none">・マネージャーが決定していた。	<ul style="list-style-type: none">・自動的に赤になるため、誰から見ても優先順位が高いことが分かった。
タスクの完了条件引き継ぎ方法	<ul style="list-style-type: none">・担当者は自分のタスクと期日だけを見て、完了条件と次のタスクの目的が見えていなかった	<ul style="list-style-type: none">・タスクの依存関係が分かるので、後ろのタスクに必要な条件が分かった。・そのタスクがクリティカルチェーンにあるのかがどうか、自分も周囲のメンバーも分かった。



実はAgileのプラクティスもやってみました

- JIRAでのタスク管理
- スプリント
- 朝会／夕会
- 振り返り

Agile開発の弱点として挙げられがちな、長いスパンでのスケジュール管理をCCPMで補えた



Agile開発のプラクティスとCCPMは共存
できるのか？

YES!

Agileソフトウェア開発とCCPMの源流は同じ
CCPMもアジャイルの理念を実現するための
プラクティスの1つにすぎないのではない
か？



Webサイトの紹介

これがカスタマイズ品注文サービスです

■ 建材・エクステリア

<https://www.monotaro.com/g/01344534/>

■ ベアリング・伝動機器

<https://www.monotaro.com/g/01344535/>

